

芭蕉の里くろばねの句碑10

- 1 野を横に馬牽きむけよほととぎす
- 2 夏山に足駄を拜む首途哉
- 3 かさねとは八重撫子の名成べし
- 4 秣負ふ人を枝折の夏野哉
- 5 今日も又朝日を拜む石の上
- 6 行春や鳥啼き魚の目は泪
- 7 山も庭も動き入るや夏座敷
- 8 田や麦や中にも夏のほととぎす
- 9 鶴鳴くや其声に芭蕉やれぬべし
- 10 木啄も庵は破らず夏木立

芭蕉(東山雲巖寺) 芭蕉(芭蕉の広場) 芭蕉(芭蕉の道黒門跡) 芭蕉(旧浄法寺邸) 歌仙より・芭蕉(明王寺) 芭蕉(芭蕉の道入り口) 芭蕉(修驗光明寺跡) 曾良(西教寺) 芭蕉(玉藻稲荷神社) 芭蕉(光明山常念寺)

きゅうじょうぼうじ てい 旧浄法寺邸



松尾芭蕉と曾良は元禄2年4月4日(陽暦1689年5月22日)に浄法寺図書(俳号桃雪)に招かれました。一族をあげて歓迎したので随分居心地がよかったのでしょうか、黒羽で十三泊十四日の長逗留であり、とりわけ浄法寺邸には八泊しました。現在の旧浄法寺邸は、芭蕉が逗留した当時の建物ではありませんが、武家屋敷の趣を多分に残し、当時の雰囲気を残しています。

くろばね ばしょう やかた 黒羽芭蕉の館



芭蕉に関わる資料や黒羽藩主大関家の資料の展示を行っており、郷土の文化遺産への関心を高めてもらうための企画展なども開催しています。建物は、八溝村を豊富に用いて重厚なたたずまいを誇っています。前庭には、芭蕉が馬に跨り曾良を従えているブロンズ像があり、当時の芭蕉の旅の姿がしのばれます。

☎0287-54-4151
●AM9:00~PM5:00
●休館日/毎週月曜日(祝日の時は翌日)、年末年始
●入館料/大人300円、小中学生100円

だいおうじ 大雄寺

〈国指定重要文化財〉



黒羽藩主大関家の檀那寺として歴史をもつ曹洞宗の禅寺です。御堂屋、庫裏の一部を除きすべて茅葺きで、伽藍の本堂、廻廊など7棟(9ヶ所)が国重要文化財に指定されています。参道入口には「不許入葦山門」と刻まれた石碑が並び立ち、老杉と共に厳肅な雰囲気を漂わせています。精神修養の場として坐禅に訪れる客も多くいます。

●自由拝観(境内のみ)
AM9:00~PM4:00
●建物内拝観要予約
☎0287-54-0332

くろばねじょうしこうえん 黒羽城址公園



黒羽城は戦国乱世の天正4年(1576年)黒羽藩主大関高増が築城しました。西の那珂川と東の松葉川にはさまれた高台にある山城は、本丸、中丸、二ノ丸、三ノ丸に分けられた複郭式で、土塁・空堀・水堀が廻らされ、跳橋や堅固な城門で仕切られており、実戦の構えを固守していました。

6月下旬から7月上旬にはアジサイの名所として多くの人が訪れます。

うんがんじ 雲巖寺



町の中心部から北東へ車で20分。八溝山地のふところ深く、清らかな溪流沿いに山門がそびえ建っています。朱塗りの橋を渡り、石段を登ると正面に釈迦堂、獅子王殿が一直線に並び代表的な伽藍配置となっています。春の新緑、秋の紅葉、冬の雪景色は見事なものです。

●自由拝観(境内のみ)
【注意】建物内立入り厳禁

※雲巖寺は、禅の修業のための道場ですが、一般の方でも自由に拝観が許されています。ただし、堂内に入ることはできません。

大田原市営バス

《雲巖寺線》 那須塩原駅から

【料金(片道)】 大人 200円
小中学生 100円

●一日乗車券(全路線乗り放題) 500円
※大田原市営バス全便に1日何度でも乗り降りができます。
(大田原市営バス車内にて販売しております)

関東バス

《五峰の湯線》 西那須野駅から

【料金(片道)】 大人 200円
小中学生 100円

事前予約制 デマンド交通 【らくらく与一号】

松尾芭蕉の句碑や雲巖寺がある黒羽地区内など乗車可能です。
詳しくは、大田原市市民生活部生活環境課生活交通係 ☎0287-23-8832 にお問い合わせください。



「市営バス」の乗り継ぎや
「市営バス・JR線」の乗り継ぎを一発検索!!

■電車ご利用の場合

東北新幹線…那須塩原駅下車
東北本線…那須塩原駅下車
(東口より市営バス40分)
東北本線…西那須野駅下車
(東口より関東バス40分)

■自動車ご利用の場合

東北自動車道
矢板IC……………40分
西那須野塩原IC……30分
那須IC……………30分

お問い合わせ 大田原市観光協会 TEL 0287-54-1110
大田原市商工観光課 TEL 0287-23-8709